

Pexip Enterprise Room Connector

あらゆる会議室でのビデオコラボレーションを簡素化し、既存のハードウェアインフラを最大限に活用できます。

現在、多くの組織では、Microsoft Teams や Google Meet などの複数のビデオコラボレーションソリューションやハードウェアを、既存の伝統的なビデオ会議室システム (SIP/H.323 デバイス) と並行して利用されています。

ユーザーにとっては、複数の機器 / 設定、複数の会議タイプがあり、接続手順も異なるため混乱を引き起こします。Enterprise Room Connector は、ユーザーの煩雑さを解消し、ミーティングルームの機能を拡張します。

Premium Enterprise Room Connector* には、 ルームの接続に必要な全て含まれています。

ご希望のクラウド会議接続サービスをお選びいただけます。



Microsoft Teams 用の Pexip CVI

標準ベースのビデオシステム (SIP/H323 デバイス) から Microsoft Teams の会議にダイヤルすることができます。



Google Meet 用 Pexip ゲートウェイ

標準ベースのビデオシステム (SIP/H323 デバイス) から Google Meet の会議にダイヤルすることができます。



Premium Pexip Endpoint Subscription

Premium Pexip Endpoint Subscription には、通話制御、電話帳管理、Skype for Business の相互接続・相互運用が含まれます。Pexip Service にビデオ会議システムを登録しプロビジョニングすることで、品質保証されたパフォーマンスを確保できます。

- **ユーザー組織のクラウドへの移行を管理します：**既存の社内通話制御ソリューションで一部のエンドポイントデバイスを維持する必要がある場合、エンドポイントサブスクリプションライセンスを Trusted Device ライセンスに置き換えることができます。その後、必要に応じてデバイスをネイティブな通話制御が可能な専用のエンドポイントサブスクリプションに移行することも可能です。
- **Trusted Device** は Pexip Service には未登録ですが、Microsoft Teams や Google ミーティングを呼び出す際には、内部デバイスとして認識されます。これにより、内部ユーザーに参加許可を求めるゲスト参加者が、会議に参加する際に使用されるロビーページを自動的にバイパスして、直接会議に参加することができます。



Pexip Virtual Meeting Room (VMR)

専用のビデオ会議室で行われる会議に、どのデバイスからでも参加できるようになります。



Pexip One-Touch Join

どんなタイプのビデオ会議にも、ボタンを押すだけの対応で参加できるようになります。



Domain hosting

組織のビデオ通話ドメインと会社の E メールを一致させることで、使い慣れたダイヤルアドレスを使用できるようになります。

* 最低 10 ライセンスよりご購入いただけます。

Basic Enterprise Room Connector オプションには、Microsoft または Google のどちらかの推奨される統合機能のみが含まれています。

Basic および Premium Enterprise Room Connector パッケージは、どちらも企業向けの契約であり、組織内の全てのビデオ会議システムに対してパッケージを購入する必要があります。

Enterprise Room Connector のパッケージは、Pexip Service の一部として展開される SaaS ソリューションとして提供されます。

* 詳細情報については、<https://www.pexip.com/ja/video-conferencing-infrastructure> をご覧ください。

• 記載された内容は、予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください (2021 年 9 月 11 日現在)。

• 記載された会社名や製品名は、各社の商標や登録商標です。